

養殖魚需給検討会の概要

- 1 日 時 : 令和7年3月11日(火) 15:00~16:00
- 2 場 所 : 水産庁 漁政部第3会議室 及び teams オンライン
- 3 議 題 :
 - (1) 養殖ブリ、養殖カンパチ、養殖マダイの生産・輸出の動向及び令和7年漁期の養殖生産数量ガイドライン(案)(ブリ、カンパチ、マダイ)について
 - (2) その他
- 4 委 員 : 委員名簿参照
- 5 概 要

佐野委員を座長として議事が進められた。事務局から資料1~4に基づき、養殖ブリ、養殖カンパチ、養殖マダイの生産・輸出の動向、養殖生産数量ガイドライン(令和7年漁期)(案)について説明した後、委員から以下の意見が述べられた。

検討会后、国内の需要と均衡すると考えられる国内供給量(案)は、ブリ 8.5万トン、カンパチ 3.0万トン、マダイ 6.0万トンで決定された。

(1) 養殖ブリの輸出・生産の動向について(資料1)

- ・ 令和7年の予測生産量は全体で約10万トンとしているが、夏の高水温による影響で予想よりは少なくなるのではないかと。輸出については、米国の動きが不透明であるため予想が難しい。
- ・ 米国向けが不透明ではあるが、令和7年の輸出量が約3万トンまで増える可能性も考えられる。
- ・ 国内供給量が9万トンを超えると需給バランスが崩れる恐れがある。需給の見通しとしては今回の予測は妥当。相場が上昇し過ぎると国内の需要が減りマーケットが崩れる可能性があるため動向を精査していく必要がある。魚の重量、モジャコの導入尾数は高水温などの環境の変化によって振れる可能性が高いため、不確実性を念頭に置く必要がある。
- ・ 生産者は歩留まりが悪化するから池入れを増やすという選択肢は持っていない。如何に健康な状態で生産して歩留まりを上げることが大事。漁場のキャパシティも決まっている中で、人工種苗を上手に使い、漁場環境に負荷をかけないような生産を心掛けている。
- ・ 輸出向けは大型サイズが好まれることから、国内での大型サイズの生産が減っている現状を考慮すると輸出量は予想より減少するのではないかと。高水温の影響により、生産量もプラスの方には向かないと考える。
- ・ 今年の新物価格が判明してきたが、昨年より高いと予想されている。年明け以降、天然物の水揚げが低調であったこともあり養殖物の価格が維持されている。今後の天然物の水揚げ状況を注視する必要がある。
- ・ 夏場に池入れする人工種苗は高水温の影響を受けやすい傾向にある。今後の人工種苗は通常サイクルの春に池入れする種苗を主体に育種を進めていく必要がある。

(2) 養殖カンパチの生産の動向について(資料2)

- ・ 令和6年度の種苗は通常よりも遅れて、かつ小型サイズのものが入ってきている。実際は、予想の数字より下振れすると思う。
- ・ 現状、稚魚の質が落ち、成魚になっても採算が合わないといった問題があり、予想の数値よりも生産量が低くなる可能性がある。
- ・ 人工種苗の開発はブリよりカンパチを進めてほしい。消費の需要もある。今の状況

なら生産量を増やしてもマーケットが崩れることはないだろう。

(3) 養殖マダイの輸出・生産の動向について（資料3）

- ・ マダイの需給は比較的安定的している状況。ただし、R5～R6にかけて生産量は下がると予測。ガイドラインは60千トンなので実績とほぼ一致し、バランスもとれているように見える。
- ・ 販売状況が低調で生簀が空かない状況。種苗の値段的にも増産は厳しい。
- ・ 12月頃の韓国への輸出量は思ったより低調であった。

(4) その他について

- ・ カンパチの輸出については、まだ微々たるものではあるが、米国市場が増えており、半分以上を占める。シンガポール、中国、韓国にも輸出しようとはしているが、需要が増えているのは米国。思うように東南アジアでは伸びていかない。米国では主に寿司での需要がある一方、東南アジアの現地の人々にとっては高価な物との印象。
- ・ くら寿司など、日本のチェーン店の海外進出に併せて輸出需要が増加するという傾向があるため、業界の動向が需要に大きな影響力を持つと言える。カンパチはブリと競合するが、日本産カンパチを絶対使いたいというのは日本国内の寿司屋に限られ、海外からの需要は少ない。一方、ブリは他に代えがたい価値があるため、日系かどうかに関わらず海外でも需要がある。
- ・ カンパチの輸出統計はないが、アジア、米国を中心に生鮮（刺身材など）での供給が多いと聞く。血合筋の褐変少ないからとのこと。国内向けは30千トンくらいあっても消化できる。
- ・ 夏の高水温でブリが育たない、生産量が減った時に、輸出量と国内供給量のどちらを減らすのか気になるところ。
- ・ 国内、輸出どちらに向けるかは、価格基準次第。今は海外向けのほうが高いのでそちらに流れていく。
- ・ 全体を通して予想を下回ることはあっても、上回ることは考えにくい状況。

異議なし。以上で閉会とする。